

# 二階派も不記載 億単位が

## パー券超過分、担当者聴取

東京地検特捜部

自民党派閥の政治資金パーティー問題を巡り、二階派(志帥会)で所属議員がパーティー券の販売ノルマを超過して集めた分について、派閥側の政治資金収支報告書に記載されていないことが3日、関係者への取材で分かった。億単位に上る可能性もある。東京地検特捜部は1億円超が裏金化したとき、二階派(清和政策研究会)と並行し、二階派についても政治資金規正法違反

とみて、調べるといった。

二階派の政治資金収支報告書によると、東京都内で毎年、政治資金パーティーを開催。18、22年に計約1億6千万円の収入があった。ノルマ超えの不記載分を含めると総額は膨らむとみられる。派閥からは議員側に10万〜100万円程度の寄付があった。

二階派の関係者によると、所属議員にはパーティー収入を管理する口座があり、購入先の企業や政治団体に振り込んでもらった後、派閥側に全額を送金していた。この関係者は取材に対し、派閥の収支報告書に超過分が不記載だったとされる点について「知らなかった。なぜそんな運用をしていたのか。理由が分からない」と話した。

(不記載・虚偽記入)の疑いで捜査。会計担当者らを聴取しており、実態解明を進める。二階派関係者によると、安倍派

では販売ノルマを超過して議員が集めた分を収支報告書に記載せず、それを議員側にキックバックした際、派閥は支出として、議員側は収入としてそれぞれ報告書に記載せず、裏金化する運用が続いていた。2022年までの5年間で1億円超とされる。二階派ではノルマを超えた分の収入は記載しない一方、キックバック分については派閥、議員側ともに記載していたという。特捜部は安倍派がより懸賞